

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	沼津市	代表者名	頼重 秀一		
担当者部署	政策推進部	連絡先電話番号	055-934-4816		
担当者役職	主事	担当者氏名	大胡田 悠希	連絡先E-mail	
住所	410-8601 静岡県沼津市16-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回は、講演に向けた事前打合せだったが、自治体システムの標準化・共通化について、他市の事例や問題点・課題等について、当方だけでは考えつかない点を的確に説明いただいた。
アドバイザーへの要望事項	当市の自治体システムの標準化・共通化が円滑・効果的に進められるよう、引き続きアドバイスいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月16日	講演	有	令和5年9月15日	909
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年9月20日	講演	10時00分	11時00分	0
				活動時間（分）	60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体情報システムの標準化・共通化はこれまでのシステム移行とは異なっており、国から様々な仕様書や手順書等が出されているが、その解釈等に苦労している。今年度、Fit&Gapなどを進めているが、より効果的に進めるため、専門的な立場からアドバイスをいただきたい。また令和6年度以降の手順等もアドバイスいただきたい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	自治体情報システムの標準化・共通化を進める上でのアドバイスをいただき、より効果的・円滑にシステム移行を進めていきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	講演に向け、現在の沼津市の標準化・共通化への取組状況や講演内容について、打合せを行った。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	講演の実施に向けて、沼津市の現状を踏まえた内容とすることができると考えられる。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の打合せでは、特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演の事前打合せのため、特に行っていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

